

# タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



▲写真は子牛が当たる抽選会

## 『ふれあいフェスタ in おおさき』

11月23日、毎年恒例となっている『ふれあいフェスタ in おおさき』がふれあいの里公園で開催されました。

この日は、あいにくの雨となりましたが、ステージでは南光保育園の園児によるおゆうぎのほか、のど自慢大会、神村学園吹奏楽部の演奏、豪華賞品や子牛が当たる抽選会などが行われました。ふれあい鍋コーナーでは大崎産の農産物をふんだんに使った豚汁が無料で振る舞われ、町内外からたくさんの人でにぎわいました。

## 『人権作文コンテストで奨励賞を受賞』

平成18年度小学生人権作文コンテスト（鹿児島地方法務局・鹿児島県人権擁護委員連合会主催）が実施され、本町からは中沖小学校2年山之内理紗さんが奨励賞を受賞し、その伝達式が12月7日、中沖小学校で行われました。

この作文コンテストは、人権尊重の重要性・必要性について理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身につけることを目的に毎年実施されています。

山之内さんが書いた作文を紹介します。



▲鹿児島地方法務局下池明鹿屋支局長から賞状を受け取る中沖小学校2年山之内理紗さん

### 平成18年度小学生人権作文コンテスト

#### 奨励賞受賞作品

ほくろ

中沖小学校二年

山之内 りさ

わたしの口びるには、生まれた時からほくろがあります。ほいくえんころには、あまり気にならなかったけど、一年生になった時友だちから「口になにかついているぞ。」と言われました。わたしは、「言わないで。」と言いましたが、なかなかやめてくれませんでした。それで、いえにかえておかあさんに「口びるのほくろのことを友だちがからかうから、びょういんに行つてほくろをとりたい。」とおねがいしました。すると、おかあさんはかなしそうだったけど、「いいよ。」と言ってくれたので、つぎの日にびょういんに行きました。そしたら、びょういんの先生が「大きいちゅうしゃをしないといけませんよ。」と言いました。わたしは、大きいちゅうしゃがこわくていやなのでおかあさんとまた、そうだんして考えました。その日のよる、おとうさんも話すと「りさのチャームポイントだから気にするな。」とはげましてくれました。そのことばでわたしは元気が出ました。

かがみの前で、もう一ど見るとほくろはくろくて光つて、かわいいかもなと思いました。

これから、口びるのほくろも、わたしのチャームポイントだから自まんしたいと思います。

そして、わたしもまわりの人にきずつくようなことを言わないようにしたいと思いました。

（原文どおり掲載）